

# 4

平成30年度  
東濃西部広域行政事務組合  
一般会計、特別会計歳入歳出  
決算審査意見書

東濃西部広域行政事務組合監査委員

東 広 監 第 2 号  
令和元年 7 月 2 日

東濃西部広域行政事務組合  
管理者 多治見市長 古川 雅典 様

東濃西部広域行政事務組合

監査委員

尾関 尊一

監査委員

樋田 翔太

平成 30 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別会計  
歳入歳出決算審査意見書の提出について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 292 条において準用する同法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された平成 30 年度東濃西部広域行政事務組合一般会計、特別会計歳入歳出決算について審査した結果、次のとおり意見を付して提出します。

1 審査の期日 令和元年6月26日

2 審査の対象

- (1) 平成30年度東濃西部広域行政事務組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 平成30年度東濃西部ふるさと活性化基金特別会計歳入歳出決算
- (3) 平成30年度東濃看護専門学校事業特別会計歳入歳出決算
- (4) 平成30年度東濃西部少年センター事業特別会計歳入歳出決算
- (5) 平成30年度東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (6) 平成30年度東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 平成30年度東濃西部地域消費生活相談事業特別会計歳入歳出決算
- (8) 平成30年度東濃西部広域行政事務組合財産状況

3 審査の結果

審査に付された決算書に基づき、歳入歳出関係諸帳簿並びに証拠書類を照合した結果、決算計数は符合して誤りのないことを確認した。

4 決算の概要

平成30年度における当組合の7会計の決算総額は、歳入286,112,334円、歳出272,810,719円、歳入歳出差引額は13,301,615円で、主なものとして、東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計で4,050,000円、東濃看護専門学校事業特別会計で2,542,491円となっている。主歳入財源である各市負担金については、総合計が129,913,000円で、全体の45.41%を占めている。

(1) 東濃西部広域行政事務組合一般会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

一般経費負担金として30,160,000円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
12,488,000	8,232,000	9,440,000	30,160,000

第2款 使用料及び手数料

畜犬登録手数料、再登録手数料、注射済票交付手数料及び再交付手数料として、7,788,040円が収入となっている。

第3款 繰入金

東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計からの繰入として、総務企画課職員3名の平均給料月額318,000円が繰入されている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として、1,986,580円が収入となっている。

第5款 諸収入

雑入として、嘱託職員の雇用保険個人負担分等16,914円となっている。

◎ 歳出について

第1款 議会費

当年度組合議会は、定例会2回が開催されている。歳出総額は118,372円のうち、主な支出は議員報酬の115,000円であった。

第2款 総務費

歳出総額は30,306,685円となっており、主な支出は一般管理費で、職員等の人件費28,036,945円となっている。

第3款 衛生費

歳出総額は7,780,390円となっており、主な支出は3市への畜犬登録事務交付金が3,640,745円、嘱託職員の人件費が2,822,489円である。

(2) 東濃西部ふるさと活性化基金特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

東濃地域消防機能広域化研究会のコンサルティング委託料の負担金として769,000円の予算を計上していたが、消防通信指令機能広域化を全県一区で行う動きとなり、東濃地域における広域化研究会を停止し、コンサルティング委託を行わなかったため、負担金を請求せず、不執行となった。

第2款 財産収入

ふるさと活性化基金の運用利息として12,716,542円が収入となっている。

第4款 繰越金

前年度繰越金として、227,686円が収入となっている。

第5款 寄付金

陶都信用農業協同組合から東濃西部3市への観光客誘致のためのPR映像制作への寄付金として、2,000,000円が収入となっている。

第6款 県支出金

東濃地区における陶磁器原料資源に関する基礎調査への県補助金として、2,000,000円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 総務費

歳出総額は6,141,017円となっており、主な支出はふるさと活性化基金補助金2,000,000円、事業委託料1,430,920円となっている。

平成30年度の補助対象事業及び補助金額は次のとおりである。

事業名	補助金額(千円)
「香港ハウスウェア・フェア2018」への出展 (岐阜県陶磁器工業協同組合連合会)	2,000

また、平成 30 年度広域開催の自主研修の実施結果は次のとおりである。

研 修 内 容	対 象	受講者数
再任用職員研修	再任用職員	17 名
法制執務研修（基礎）	20 代後半～30 代	23 名
コミュニケーション研修	20 代事務及び技能労務職員	18 名
公文書作成講座	新規採用職員	26 名
法制執務研修（実務）	20 代後半～30 代	22 名
女性職員向け キャリアデザイン研修	20 代後半～30 代前半	20 名

## 第 2 款 商工費

歳出総額は 10,841,918 円となっており、主な支出は、東濃地区における陶磁器原料資源に関する基礎調査委託料として 4,500,000 円、東濃西部 3 市への観光客誘致のための PR 映像制作委託料として 3,000,000 円 観光 PR パンフレット増刷および Web コンテンツ メンテナンス業務委託料として 2,291,760 円となっている。

## (3) 東濃看護専門学校事業特別会計

### ◎ 歳入について

#### 第 1 款 分担金及び負担金

衛生費負担金として、54,204,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合 計
17,848,000	7,145,000	29,211,000	54,204,000

#### 第 2 款 使用料及び手数料

使用料及び手数料は 39,440,000 円で、内訳は授業料 36,000,000 円、入学金 2,700,000 円、入学試験料 410,000 円、再試験料 330,000 円となっている。

#### 第 3 款 財産収入

財産収入は 89,519 円で、内訳は東濃看護専門学校財政調整基金の運用利息が 20,800 円、自動販売機設置に係る建物貸付収入が 68,719 円となっている。

#### 第 5 款 繰越金

前年度繰越金として 1,000,000 円が収入となっている。

#### 第 6 款 諸収入

諸収入は 12,982,502 円で、主な内訳は、施設整備協力金 6,800,000 円、教材実習費 6,000,000 円となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は 105,173,530 円となっており、主な支出は職員等の人件費 83,000,428 円、消耗品費、光熱水費、修繕費、燃料費などの需用費 5,817,774 円、施設清掃及び空調設備点検などの委託料 5,706,288 円、非常勤講師、特別講師への謝礼金などの報償費 4,579,900 円、実習施設負担金などの負担金・補助及び交付金 3,576,896 円、その他学校運営に係る費用となっている。

(4) 東濃西部少年センター事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

教育費負担金として 14,161,000 円が収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多 治 見 市	瑞 浪 市	土 岐 市	合 計
7,578,000	2,583,000	4,000,000	14,161,000

第2款 繰越金

前年度繰越金として、1,038,870 円が収入となっている。

第3款 諸収入

嘱託職員雇用保険の自己負担分として 15,180 円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 教育費

歳出総額は 13,925,306 円で、主な支出は嘱託職員等の人件費 8,874,243 円、指導員費用弁償分 2,127,400 円である。

年度別の指導状況及び少年相談件数は次のとおりである。

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	比 較
活動回数 (回)	410	411	+1
活動人員 (人)	1,703	1,732	+29
指導人数 (人)	37	64	+27
電話相談 (件)	18 〈18〉	23 〈21〉	+5
面接相談 (件)	1 〈1〉	1 〈1〉	±0
メール相談 (件)	12 〈6〉	4 〈2〉	-8

※ 〈 〉 内は相談人数を表す。

(5) 東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

衛生費負担金として 22,800,000 円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。 (単位：円)

多 治 見 市	瑞 浪 市	土 岐 市	中 津 川 市	恵 那 市	合 計
0	4,200,000	3,600,000	11,400,000	3,600,000	22,800,000

第2款 財産収入

東濃地域医師確保奨学基金の運用利息として、32,000円が収入となっている。

第3款 繰入金

東濃地域医師確保奨学基金からの繰入として、47,197,650円が繰入られている。

第4款 県支出金

岐阜県地域医療確保事業費補助金として1,200,000円の収入となっている。

第6款 繰越金

前年度繰越金として、4,800,000円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は74,829,650円で、主な支出は奨学生への貸付金46,800,000円、東濃地域医師確保奨学基金積立金27,632,000円となっている。

(6) 東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

衛生費負担金として6,215,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
2,047,000	819,000	3,349,000	6,215,000

第3款 県支出金

岐阜県地域医療確保事業費補助金として5,000,000円の収入となっている。

第4 諸収入

看護師修学資金貸付元金収入として2,460,000円の収入となっている。

第5款 繰越金

前年度繰越金として、5,000,000円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 衛生費

歳出総額は14,625,000円で、主な支出は修学生への貸付金12,150,000円、各市支出金過年度還付金2,460,000円となっている。

(7) 東濃西部地域消費生活相談事業特別会計

◎ 歳入について

第1款 分担金及び負担金

総務費負担金として2,373,000円の収入となっている。

各市の負担金は次のとおりである。(単位：円)

多治見市	瑞浪市	土岐市	合計
1,757,000	312,000	304,000	2,373,000

第2款 県支出金

消費者行政活性化基金事業費補助金として4,412,901円の収入となっている。

第3款 繰入金

東濃西部ふるさと活性化基金からの繰入として2,235,175円が繰入られている。

第4款 諸収入

雑入として、嘱託職員の雇用保険個人負担分22,386円となっている。

第5款 繰越金

前年度繰越金として、525,389円が収入となっている。

◎ 歳出について

第1款 総務費

歳出総額は9,068,851円で、主な支出は嘱託職員等の人件費864万3361円、弁護士への謝礼金の報償費180,000円、消耗品費などの需用費94,183円となっている。

(8) 東濃西部広域行政事務組合財産状況

1 土地及び建物

土地及び建物は前年度と同様、2,582.81㎡であった。

2 物品（車両のみ）

物品は前年度と同様、小型乗用車3台、軽乗用車1台、小型貨物車2台であった。

3 債権

①医師確保奨学資金貸付金

平成29年度末現在高 505,800,000円に46,800,000円を貸し付けたため、平成30年度末現在高は552,600,000円であった。

②看護師修学資金貸付金

平成29年度末現在高 49,620,000円に12,150,000円を貸し付け、2,460,000円の償還に至り、10,800,000円が償還免除となったため、平成30年度末現在高は48,510,000円であった。

4 基金

①東濃看護専門学校財政調整基金

本基金は、東濃看護専門学校施設の整備改善、災害若しくは事故により生じた経費の財源又はやむを得ない理由により生じた経費の財源に充てるために設置されたものである。

平成29年度末基金残高15,914,886円に、平成29年度決算剰余金の内2,633,851円と、平成30年度の基金運用収入20,800円を積み立てた。平成30年度末残高は18,569,537円である。



## ②ふるさと活性化基金

本基金は、東濃西部地域の振興整備の事業に資するため設置されたものである。

平成 29 年度末基金残高 1,104,549,988 円から、他会計への繰出金 1,694,000 円を取り崩した。平成 30 年度末残高は 1,102,855,988 円である。

## ③東濃地域医師確保奨学基金

本基金は、東濃地域医師確保奨学資金等の貸付のための経費に充てるために設置されたものである。

平成 29 年度末基金残高 31,698,167 円に、各市からの負担金 22,800,000 円及び基金運用収入 32,000 円、平成 29 年度決算剰余金 4,800,000 円を積み立て、平成 30 年度貸付額 46,800,000 円、事務費 397,650 円を取り崩した。平成 30 年度末残高は 12,131,517 円である。

## 5 指摘事項

指摘事項は特にないが、要望事項は次のとおりであるので、今後はこれらの事項に留意し、事務に取り組んでいただきたい。

### 【東濃西部広域行政事務組合一般会計】

狂犬病の怖さも含めて、予防接種の重要性をよく啓発していただくと共に、実数により近づくよう動物病院などと連携を取り、登録件数の適正化に引き続き努めていただきたい。

### 【東濃西部ふるさと活性化基金特別会計】

パンフレットに観光コースを記載し東濃3市を周遊できるようにするなど、来ていただいた観光客が地域の観光資源を利用しやすくなるよう、掲載内容をよく検討していただきたい。

### 【東濃看護専門学校事業特別会計】

入学者数が減少していることを考慮し、施設整備協力金などの学生が負担している費用の見直しを検討するなど、入学者数が増加する方策を検討していただきたい。

### 【東濃西部少年センター事業特別会計】

自転車事故は一旦起きてしまうと悲惨な結果になることも踏まえ、引き続き自転車事故防止の啓発に重点を置いていただきたい。

また悩みを持つ子ども達が相談しやすくなるよう、相談窓口のPRに引き続き努めていただきたい。

### 【東濃地域医師確保奨学資金等貸付事業特別会計】

医学部へ進学する学生がいる近隣の高校を把握し、医学部受験者に直接周知するなど効率的にPRを行っていただきたい。

### 【東濃西部看護師修学資金貸付事業特別会計】

看護師の地域定着に有用な制度のため、引き続き利用者が増加するようPRに努めていただきたい。

### 【東濃西部地域消費生活相談事業特別会計】

相談件数が増えているのは市民のニーズがあるという事なので、市民が相談しやすくなるよう、引き続き相談窓口の周知に努めていただきたい。

